

6 . 衛生動物に関する試験検査

1) 年間取扱件数

平成16年度の衛生動物に関する試験検査の取扱件数は表6のとおりである。

表6 衛生動物に関する試験検査取扱件数

| | 計 | 平成16年 | | | | | | | | | | 平成17年 | | |
|--------|-----|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|-------|----|--|
| | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 衛生動物検査 | 155 | 3 | 11 | 12 | 27 | 12 | 14 | 16 | 20 | 10 | 2 | 7 | 21 | |
| 衛生相談 | 168 | 3 | 13 | 12 | 28 | 15 | 16 | 16 | 21 | 11 | 2 | 9 | 22 | |
| 計 | 323 | 6 | 24 | 24 | 55 | 27 | 30 | 32 | 41 | 21 | 4 | 16 | 43 | |

2) 衛生動物検査及び衛生相談

微生物部門

(1) 目的

市民生活と密接に関わっている衛生動物（昆虫類やダニ類など）について、衛生上の害の啓発や駆除方法指導の参考とするために、市民、保健所などからの依頼に基づき、衛生動物検査（同定）を行っている。また、市民からの衛生動物についての相談を受け付け、駆除方法などについての指導を行っている。

(2) 結果

衛生動物などの検査依頼の総数は155件であった。

そのうち、ダニ類に関するものは31件で、28件が室内ホコリ中のダニ検査であった。

昆虫類に関するものは107件で、鞘翅目が33件と最も多く、次いで双翅目が25件、膜翅目が14件などであった。

衛生相談の総数は、168件であった。内容は多岐にわたるが、鞘翅目に関するものが最も多かった。